

資源再生利用の推進

令和2年8月26日(水)

まちづくり支援課

事業目的

第3次十和田市ごみ減量行動計画に基づき、廃棄物の排出量を抑制するとともに、循環型社会の形成を促進し、地域環境の改善を図る。

第3次十和田市ごみ減量行動計画(H29~R1)

【策定趣旨】

資源循環型社会の形成を目指し、更なるごみの減量化・資源化を図るため、これまでの取組結果を踏まえ、具体的な施策や目標値を設定する。

【目標】

- ・1人1日当たりのごみ排出量 920 g以下
- ・リサイクル率 25%以上

第3次十和田市ごみ減量行動計画(H29～R1)

【実践内容】

市民・事業者・行政の3者が連携し、3つの実践内容を基に、取組を推進し、継続的に施策の質の向上を目指す。

	市民の取組	事業者の取組	行政の取組
実践内容1 ごみ減量化の推進	<ul style="list-style-type: none">・マイバッグ持参・詰め替え商品の購入	<ul style="list-style-type: none">・廃棄物の少ない商品の製造	<ul style="list-style-type: none">・生ごみの減量・衣類回収・オフィス町内会加入促進
実践内容2 リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none">・分別の徹底・資源集団回収や店頭回収の活用	<ul style="list-style-type: none">・リサイクル製品の販売	<ul style="list-style-type: none">・使用済小型家電回収
実践内容3 3Rに関する意識啓発の推進	<ul style="list-style-type: none">・ごみカレンダーの活用・ふるさと出前きらめき講座の活用	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の実践	<ul style="list-style-type: none">・3Rの取組を推進・ごみに関する勉強会の催し

資源集団回収の換算重量

ごみの減量化とリサイクル率及び意識の向上を目的に、資源の集団回収をする団体に奨励金(3円/kg)を交付している。

H26からは、参加団体及び回収量の増加を促進するため、新たに繊維類(布・衣類等)を回収品目に加えたが、回収量は年々減少している。

●資源集団回収の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1
交付団体数	63	74	70	73	74
交付額(円)	1,715,028	1,701,509	1,554,448	1,385,918	1,310,500
回収量(t)	571	567	518	461	436

● 1人1日当たりのごみ排出量とリサイクル率の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1
ごみ総排出量(t)	23,183	22,793	22,688	22,235	22,264
1人1日当たりのごみ排出量(g)	997	991	997	986	1014
リサイクル率(%)	21.6	22.2	23.2	21.7	21.1

※ 店頭回収等について

	設置箇所数	H27	R1
① 使用済小型家電回収	市内14ヶ所	1,331kg	1,890kg
② 衣類等回収	市内4ヶ所	1,345kg	14,149kg
③ オフィス町内会	—	174,813kg	273,140kg(H30)
③' オフィス町内会(事業者数) (十和田市内)	—	71	82

総評

- ・ごみの総排出量は、H27と比較し、R1は4%減となっている。
- ・資源集団回収量は、H27と比較し、R1は24%減となっている。

→ 事業検証シートに記載したとおり、店頭回収等の普及（前ページ※表）により、集団回収が伸び悩んでいると考える。

ただ、町内会やPTAが実施する資源集団回収は、身近なリサイクルの取組であることと、町内会やPTA活動の貴重な財源にもなっていることから、時代的な役目は終了していないと考え、継続していきたい。

●「幼児向け資源ごみのリサイクル教室」について

十和田市では、平成22年度から、循環型社会の形成を目的とし、幼児期からの環境保全に対する意識の向上を図るため、幼児向けに資源ごみのリサイクル教室を実施している。

●実施施設数の推移（十和田市内の保育園・幼稚園が対象）

年度	H27	H28	H29	H30	R1
実施施設数	21	25	24	24	23

●「幼児向け資源ごみのリサイクル教室」の実施写真



紙芝居



資源ごみの種類とマークの説明



資源ごみの分別ゲーム